



当社製品ノッチワイヤーエレメント

- 本社所在地：神奈川県横浜市磯子区
- 事業概要：船用・陸用ディーゼル機関向け各種ストレーナー、フィルターなどの設計、開発、製造など
- 常時使用する従業員：102名
(2026年8月時点)
- 現在の売上高：37億円
(2025年9月期)
- 法人番号：8020001002762
- Web：
<https://www.kanagawa-kiki.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
卜部 礼二郎

世界を止めないために、出来ることがある。

当社は1951年の創業以来、逆洗可能なノッチワイヤーエレメントを有する濾過装置の開発・製造・販売に取り組んできました。ミクロン単位の精度を持ち、半永久的に油を濾過できる高精度濾過フィルターを通じて、船舶のエンジンの長距離・長時間航行を支えています。モノづくりは社会の変化の中で逆境を迎えることもあります。ですが、当社は高精度濾過フィルターのリーディングカンパニーとして、世界を止めないために前進し続けます。その先に、100億企業の実現が適えば幸いです。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

当社は2036年に売上高100億円を実現します。我が国の造船・修繕・船用工業は、過去10年、国際競争力低下が叫ばれてきましたが、2030年代に世界の造船需要が更に拡大することが想定されるとともに、地政学リスクの観点やGX・脱炭素に技術開発が必要なことから我が国のプレゼンスが高まっています。当社ではこれらのニーズを的確に捉え、売上高100億円実現へ向け、着実な成長を図ります。

課題

売上高100億円を目指すうえで大きな課題となるのは、生産能力増強のための設備投資です。また、更に先を見据えて、当社の強みである設計、開発力を更に高めるために人材育成、技術開発を行う必要があることも課題となります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

今後の市場拡大を踏まえると、生産能力の増強によって対応できる体制を整えることが当社の目指すべき成長手段となります。クレーンやロボットなどの大型のハード面の投資に加えて、当社の強みである設計、開発力を更に高めるためにAIの活用を想定しています。これらの投資を2026年からの10年間のうち前半の2031年までに実施し、後半の5年間で着実に需要捉えられる体制を整えます。

実施体制

代表取締役を全体統括として、設備投資による生産体制の増強と新技術の開発を並行して進めます。いずれの取り組みにおいても社員が力を発揮しやすい環境を整えることが重要と捉えており、代表取締役の指揮のもと、人事制度や福利厚生の充実、大学と連携した教育機会の提供によって、売上高100億円を目指す体制を整えていきます。